

簿記 徳竹講師【2018年合格】の受講ケース

2016年12月学習開始 ⇒2017年12月短答で合格

年	月	勉強時間（週）			受講数（週）						勉強内容・備考	勉強以外
		計算科目 （割合）	理論科目 （割合）	合計 （時間）	財務計算	管理会計	企業法	財務理論	監査論	合計		
2016年	12月	100%	0%	30	3					3	・簿記3級を独学で取得後にTACへ入学 ・入門Ⅱからスタート	【バイト】 週3日×5時間＝15時間 【大学】 ・12月にサークルをやめた ・1月はテスト期間 ・2月～3月は休み
2017年	1月	95%	5%	40	3	2	2			7	【勉強時間の割合】 ・財計：60％，管理35％，理論系：5％ 【学習教材】 ・テキスト，トレーニングをひたすらやる ・過去問，パワーアップ問題は着手できなかった	【バイト】 週2日×3時間＝6時間 【大学】 4月～6月は授業
	2月	90%	10%	60	3	2	2	1	1	9	【意識していたこと】 ・どうやって解くか理解できたら，どんどん先へ進む，理解度は30％くらい →とにかく全体像を早く把握したかった →復習の回転数を上げる事ができれば，できるようになるなという感覚があったため，丁寧な復習よりも先に進む事を意識した ・理論系は講義を受けた際に，メモをめちゃくちゃとる →復習は夏以降になることが想定されており，その際に講義内容を思い出せるようにメモをとった →復習はほぼ0，やって1日15分。 【成績】 ・ミニテストは毎回20点～30点くらいだった記憶。 ・実力テストはもっとひどい。	
	3月	90%	10%	60	3	2	2	1	1	9	【良かったこと】 ・簿記特有の後から分かる論点でつまづくことがなかった ・下記6月に記載した通り，全体を復習して回転する時期を設けることができた	
	4月	90%	10%	60	3	2	2	1	1	9	【悪かったこと】 ・BMⅡを難にやったせいで，BMⅣが全く分からなかった ・本質的な理解は短答までにできていなかったと思う	
	5月	90%	10%	60	3	2	2	1	1	9	【計算科目】 上級のライブ講義が6月末からで，それまで1ヶ月くらい間があったので，復習に注力した 【理論科目】 上級講義からライブに合流するために，基礎マスターの講義を終える	
	6月	90%	10%	60	0	0	2	2	2	6	・朝7:30にTACに来るようになった 【計算科目】 ・アクセスに合わせて計算を全力で復習	
	7月	80%	20%	70	1	1	1	2	1	6	【理論科目】 ・大学のテスト後から，理論科目を1日1時間ずつ読み始める ・財務の理論について，当初は後半クラスで受けていたが，前半クラスに合流するため，一気に消化した	【バイト】 6月末で休職 【大学】 ・7月はテスト ・8月～9月は休み ・10月～11月は授業 ・直前3週間は自主休校
	8月	80%	20%	80	1	1	1	4	1	8	【計算科目】 ・アクセスに合わせて計算を復習（上級の範囲になるにつれて，徐々に勉強時間は減らした） 【理論科目】 ・10月から理論の回転数を上げられるように，テキスト全体を読み，回転の準備をした	
	9月	50%	50%	80	1	1	1	1	1	5	【計算科目】 ・1日1アクセスを復習→過去問集を1周→1日1アクセス復習→テキスト例題 ・勉強時間は1日2時間	
	10月	10%	90%	70						0	【理論科目】 ・1日の勉強時間のうち，3時間ずつを各科目に割り当てた	
	11月	10%	90%	70						0		
	12月	20%	80%	70						0	全体のメンテナンス	